

2022年卒  
Vol.08

## 6月1日時点の就職活動調査 〈速報〉

キャリアス就活2022 学生モニター調査結果 (2021年6月発行)

2022年卒業予定者の採用面接が今月1日に正式に解禁され、大きな山場を迎えている。コロナ禍で停滞した昨年に比べ進行の早さが目立っていたが、内定率はどのように変化しただろうか。6月1日現在のキャリアス就活・学生モニターの就職活動状況を調査した。内定状況のほか多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

### 1. 6月1日時点の内定状況

- 内定率は71.8%。前年同期実績(64.0%)を7.8ポイント上回る
- 就職活動終了者は全体の47.5%。前年(35.2%)を12.3ポイント上回る。継続者は52.5%

### 2. 内定保持学生の未決定理由

- 「本命の企業が他にあり、まだ選考中」が前年より減少(55.1%→46.2%)

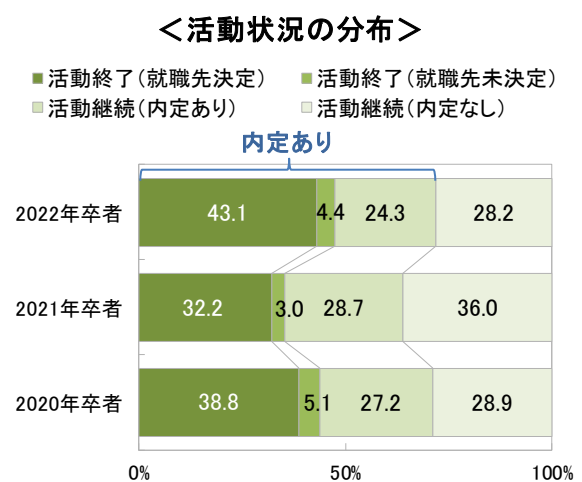
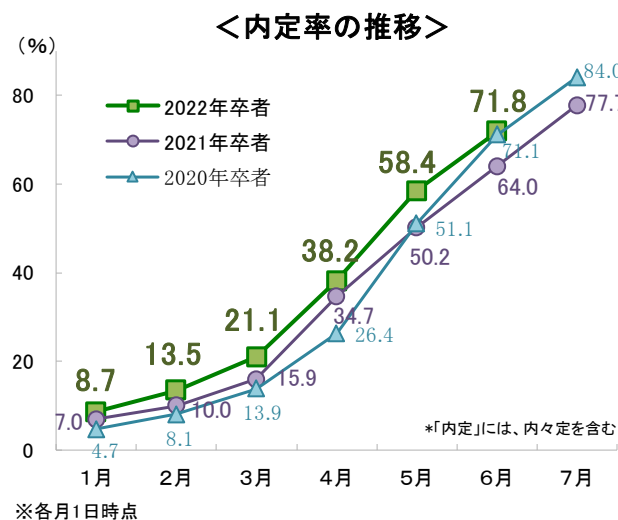
### 3. 未内定者の見通し

- 未内定者の4人に3人(73.5%)は「内定の見通しが立っていない」

### 1. 6月1日時点の内定状況

6月1日現在の学生モニターの内定率は71.8%。先月調査(5月1日、58.4%)からの1カ月間で13.4ポイント上昇し、前年実績(64.0%)を7.8ポイント上回った。今期は序盤から早いペースで進行。前年のみならず、新型コロナウイルスの影響がなかった2年前に比べてもかなり高い水準で推移してきたが、選考解禁のこのタイミングで2年前(2020年卒者、71.1%)とほぼ同水準になった。

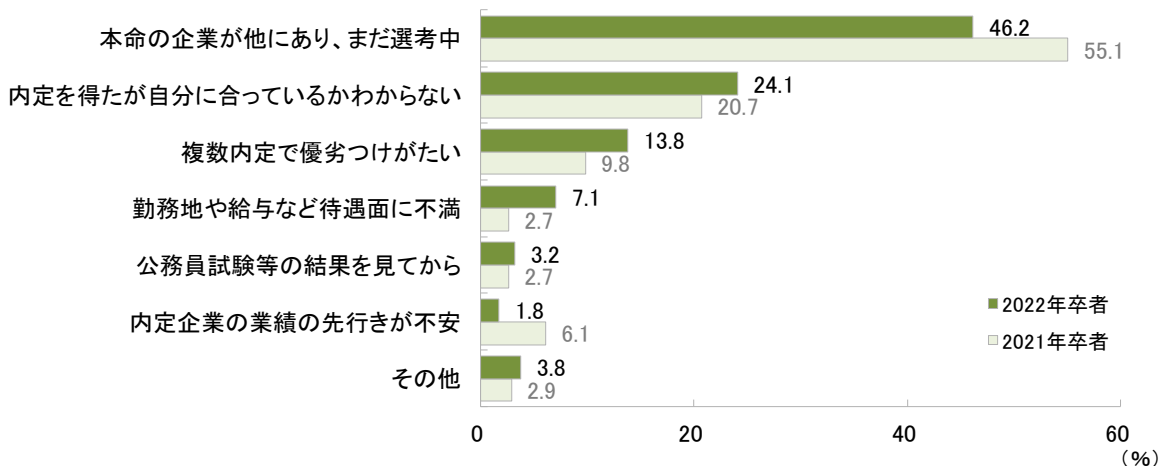
調査時点で就職先を決定して活動を終了した者の割合はモニター全体の43.1%。複数内定を保留しているなど未決定である者(4.4%)を合わせると、終了者は47.5%となる。前年同期(計35.2%)より12.3ポイント上昇した。活動継続者は「内定あり」(24.3%)、「内定なし」(28.2%)を合わせて52.5%。



## 2. 内定保持学生の未決定理由

内定取得学生のうち就職先を決めていない者（モニター全体の 28.7%）にその理由を尋ねると、最も多いのが「本命の企業が他にあり、まだ選考中」という回答で、本命企業の結果次第という状況だ。ただ、コロナ禍で選考の遅れが目立った前年に比べ割合は大きく下がった（55.1%→46.2%）。「自分に合っているかわからない」や「複数内定で優劣つけがたい」のポイントがそれぞれ前年よりも伸び、内定承諾を迷う学生が増えた。

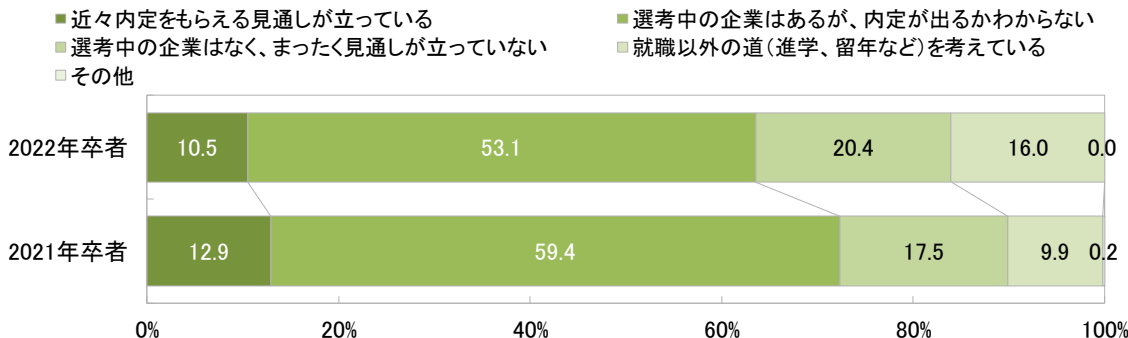
＜内定保持者が就職先を決めていない理由＞



## 3. 未内定者の見通し

未内定の学生には内定獲得の見通しを尋ねた。「近々内定をもらえる見通しが立っている」は 1 割（10.5%）にとどまり、最も多いのは「選考中の企業はあるが、内定が出るかわからない」（53.1%）。ここに「選考中の企業はなく、まったく見通しが立っていない」（20.4%）を足し合わせると 73.5% になり、未内定者の 7 割強が先の見えない状況にあるようだ。高水準の内定率の一方で、厳しさが表れている。ここから先の内定率は伸び悩む可能性もありそうだ。

＜未内定者が内定を得る見通し＞



## 調査概要

- 調査対象 : 2022 年 3 月に卒業予定の大学 4 年生（理系は大学院修士課程 2 年生含む）
- 回答者数 : 1,217 人（文系男子 386 人、文系女子 361 人、理系男子 333 人、理系女子 137 人）
- 調査方法 : インターネット調査法
- 調査期間 : 2021 年 6 月 1 日～6 日
- サンプリング : キャリタス就活 2022 学生モニター